

議長定例記者会見 会見録

日時：令和6年4月9日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 冒頭の挨拶

2 質疑項目

- 新年度の議会の体制について
- 議長任期について
- 議長としてのこれまでの取り組みについて
- 議員へのハラスメント研修について
- 議長職について

1 冒頭の挨拶

(議長)おはようございます。ただ今から4月の議長定例記者会を始めさせていただきます。新年度を迎えまして初めての議長定例記者会見となります。昨年度は、皆さま方には、県議会の活動等にかかる報道について大変お世話になりました。本年度も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。本日は特に発表事項はございませんけれども、2月定例月会議を終えての感想などについて少し申し上げたいと思います。2月定例月会議では、やはり令和6年度の当初予算と、令和5年度2月補正予算が、最も重要な案件の一つであったと思います。特に「子どもたちの輝く未来の実現」や「実効性のある人口減少対策の推進」、「時代の変化と潮流を捉えた産業振興」、さらには県民の皆さんの「いのちを守り、暮らしを支える」等のため、限られた財源が効率的・効果的に配分されているかなどといった観点から、本会議や予算決算常任委員会等において慎重かつ詳細に審査し、3月22日、可決いたしました。この審査の過程では、「女性が活躍できる職場づくりのための取り組みの一層の推進」や、子どもたちの「自然体験活動の促進と自然保育の推進にあたっての部局間連携」をはじめとするさまざまな意見を申し上げておりますので、県当局におかれては、これらを踏まえ、しっかり執行していただきたいと思ひます。また、能登半島地震の被災地支援等や、波切漁港で発生した魚類のへい死に対応するための補正予算もございました。これについては、緊急を要することから先議することとし、迅速かつ慎重な審査のうえ、2月20日に可決したところでございます。このほか、観光振興基本計画をはじめとするさまざまな議案についても、本会議や委員会等において活発な議論、慎重な審査を行い、今後の取り組みの方向性や進め方等について意見・要望を申し上げるなど、議会としての役割をしっかりと果た

せたものと考えております。私からは以上でございます。

2 質疑応答

○新年度の議会の体制について

(質問) ありがとうございます。幹事社です。よろしくお願いいたします。特に2月の可決に関して、議会の可決に関しては理解できたんですけども、新年度にあたって三重県議会としてどのように、2年目に当たりますけども、どういうふうにしていくのかというところを少し触れていただきたいんですが。

(議長) 新年度にあたって、議会は年度、年度で、当然これはサイクルがありますけれども、通年議会ということとか、それから議会というのは5月から始まって5月に終わるというね、役選というか改選時期が5月にありますので、そういう意味では、現在ではまだ常任委員会にしろ、それぞれの役職については、4月であっても継続をしているわけでありまして。いずれにしましても年度変わってますので、執行部のほうが、また人事異動があったりいろんな方々が体制づくり、執行部のほうされてますので、我が三重県議会も新たな年度を迎えて、新しい役員体制であったり常任委員会体制について、今後、代表者会議、そしてそれぞれの関係役員の選出に向けて、これから準備スタート、5月に向けてしっかりと、議会の体制づくりもしっかりと構築してまいりたいなと思っているところでございます。

○議長任期について

(質問) 申し合わせの任期まで、5月から始まり5月に終わるということですから、5月に役員改選がありますね当然。申し合わせの任期まではもう1カ月ぐらいということになってますけれど。

(議長) そうですね。ちょうど1カ月になるんですかね。

(質問) その上で、議長、かねてから一旦は辞表を出して、あと議員各位の信を問うというご認識でよかったですかね。まず前提として確認です。

(議長) 正しくは、辞表出してということは実は言ってないんです。1期を据えて2年以内ということを行っていますので、そのことを踏まえて、1年を経過した後、信を問うということですね。信の問い方については、一つの方法として辞表出してという方法も一つですし、別の方法ももしかしたらあるかも分かりませんし、いずれにしましても、私自身が判断したり自らが決めるということにはならないわけです。どなたに限らず、過去の前例を見ても、それぞれ

の会派であったり、議会内部で、それぞれの体制が場合によってはそういう、過去に2年された方もいますし、1年で勇退された方もいるという、過去の例がありますので、私1人がやりましよう、こんな簡単なものじゃないということだけのご理解をいただきたいと同時に、やはり慎重に、そして丁寧に、そして我が会派だけではなく、多くの他会派の皆さま方のご意見も取り入れながら、しかるべきときにそういう協議の場がありますので、そういうときにはどのような方法がいいか、手順も含めてとなるということでもありますので、あまり早々とどうのこうのということは控えたいと思います。

（質問）細かい話で申し訳ありません。昨年の所信表明会では、一旦は辞表を出すというコメントがあったように記憶しておるんですが記憶違いですか。いかがでしょうか事務局。

（議長）記録を見たら分かりますけども、そういう表現じゃなく、信を問う旨を言ったのはもちろん覚えています。

（質問）辞表を提出するというのも一つの方法ではある。

（議長）その時に言ったかどうかはちょっと定かじゃないので。

（質問）そうすると、辞表を出すか出さないかっていうのは、これはどういう観点で検討されることになりますか。

（議長）過去に2年された方の例は、一番最近では中村進一議長のときは辞表を出してませんのでね。その以前はちょっと詳しく分かりませんが、2年された方は辞表を出していないのが過去の例です。ただこの後、中嶋議長の時も青木議長の時も、辞表を出してということがあって1年で終了したという経緯がある。そのことと比べて私のとるべき姿、何がいいのかというのを模索してるだけのことで、何が正しいとか、何かルールがあるというわけではないということです。

（質問）当然制度上、辞表を出さなければ議長選については行われなことになるかなと認識してますけど。自身が判断して決めるわけにはいかないと、だけでは決めるわけにはいかないということはさりながら、ご自身に続投したいという思いがなければ、周りがどのようにご判断されてもと思いますけど、ご自身としてはいかがですか。

(議長) いずれにしましても、今、記者会見の場ですので、公になるということとなります。それはさすがに、我が会派のものや、他の会派の皆さま方に影響を及ぼすのは間違いないですので、コメントは控えさせていただいて、当初から1年はしっかりとやって、しかるべきときに判断をさせていただくということに尽きるわけでございます。

(質問) いつ頃までには皆様のご意見を聞いてご判断されたいかというのは。直前までですかね。

(議長) これは毎年のことなんですけども、毎回というほうが正しいですか。役員改選の会議が始まるときに、正副議長選についての議論はあるけれども、それは後からするとして、先に常任委員会などがスタートしている過去の例。その時には、その間に立候補の締め切りを決めるとか、どうするかによって、その時にはもう判断をしないと、立候補する方のね、そういうことがありますので、その時になりますので、それまでにもしかしたら私以外のものが相談してるかも分かりませんがね。それは分かりません。

○議長としてのこれまでの取り組みについて

(質問) これまでのご自身のほぼ1年間の議長の任期中を振り返って、ご自身として議長として、どのように役目を果たされたか。

(議長) 本当に比較するのも難しいけど、先輩経験者によく聞くんですけども、自分から言うのも変やけど、要は頑張ってるねというような非常に良い評価はたくさんいただいていますけれども、私自身も機会に恵まれたということもありますし、副議長さんがサポートしていただいたということも十分ございまして、我が会派、そして新政みえさん、そして草莽さんなどのそれぞれの会派の皆さま方も協力的だったと理解していますし、議会運営については非常にこの1年間は充実、かつ正しい議会運営ができたのかなと思っておりますし、また議長公務といえどもたくさんあるわけですよ。日程が調整できなかつたら副議長にご協力いただいたり、そして他の都道府県の関係で、全国議長会との関係も積極的に私は取り組んだと自負しております。その成果の一つここに、このあいだ代表者会議で発表しましたこういう成果が、これは副議長に委員としてなってもらったんですけども、このきっかけを作ったのも私からも進言させていただいた経緯もございましたし、こういうものが今後、多様な人材が議会のためにできればこのことが遂行される、すごい改革になるのではないかなと。これは三重県議会だけではなく、全国の都道府県、そしてその波及する市町村議会にも大きく影響するといえますか、なっていくのではないかな。そうすると、

主権者教育のみならず、議会に関心を持っていただく方、投票率の向上だけではなく、いろんな若い人たち、女性が活躍できる場として議会、都道府県だけではなく市町村議会も含めて、地域の活性化につながるのではないかな、議会活性化につながるのではないかな、このように思っています。

(質問) 一方で、2年目をされるかどうかはともかくとして、積み残しであったりとか、まだまだしなければならない課題、解決しなければならない、議会運営という点において、議長として。

(議長) 2年目は置いていて、これまさに代表者会議で提案をさせていただき、大きく3項目を提案をして報告をしたんですけども、方向性については代表者会議で認めていただいておりますので、我々正副でその準備をしながら、どのような提案をできるのかということです。そのためには、任期は2人、1年ありますけれども、必ずしもこれは我々2人しかできないということではないわけですので、当然メンバーが変わろうと内容については、継続、継承されるものと思っています。いずれにしてもこれ重要な話でございます。主権者教育は今既にやっていますし、これ当然引き続きやっていただく。高校生県議会も含めてそういうことになります。それから、大きな二つ目の、立候補や議員として活動しやすい環境を作るための経済界へのアプローチというのは、これ大変、今まではなかなか十分できなかったということもありますので、これは非常に大きな一歩になるのかなと。なかなか難しいですけども、これは当然進めていかなくてはいけないのと、最後にいわゆる議員研修の中の、ハラスメントを許さない環境づくり、これは大事でございますので、これいろんなハラスメントたくさん種類はありますけれども、すべてのハラスメントに対して、やはりしっかりとした、議員として、議会として、見識を深めないとはやはりこれは良くない。そういう事象はあったら良くないわけですので、そういうことが大事とすると、いい環境の中の議会運営ができるのではないかなと思っています。いずれにしても具体的な内容について、代表者会議で正副に案を提出せよということも言われておりますので、早速それは準備に取りかかっているという状況です。

○議員へのハラスメント研修について

(質問) 今のことに関連しまして、先般の女性議員の同僚議員からのセクハラ疑惑ということを受けまして、議員ハラスメント研修、これ現状どのようなになっているのかというのを教えてください。

(議長) 特定事象があったということはもう事実でございますし、私どものほ

うに、当該議員から意見・要望がされました。大きく二つでございまして、その時点のことにしっかりと対応してほしいということと、それから研修の機会を設けてほしいということ。研修の機会につきましては、言われるまでもなくというか、そういう事象があるなしにかかわらず、すでにもう以前から準備をしていますので、これやはり、前やったからとか、いつやったからと違って、できるだけ研修の場を多くというか、機会を増やしていかなくてはいけないのかなというのは感じておりますので、それはあります。それから、相談窓口なども要望があったので、これは今でも相談窓口、実はあるわけですので、わざわざ看板あげなくても相談できる体制がありますので、それも含めて相談されやすい、しやすい、そして理解しやすいような環境づくりでないといけないと思っておりますし、今回の事象については、何回も説明を私から当該議員に説明しておりますので、ご理解いただいておりますけれども、さらに必要であれば、対応させていただくのは当然でございます。

(質問) 議員研修にあたっては実施時期でありますとか、詳しい具体的な実施日程でありますとか実施内容とかそういったことはまだこれからということですか。

(議長) そうですね。代表者会議にお諮りする準備をしておりますので、具体的には、通常というか、例年でしたらと言ったらいいんですかね。ハラスメントではない研修、議員研修というのが2回程度やっています。それはそれでいいんですけども、そのうちの一つにするのか、そうでない機会にするのかというのは、これはまた今後、どういう研修のあり方であったりというのは、また政策的な研修も必要ですので、ハラスメントというそういう内部的な研修も必要ということですので、それはそれで、両方を必要な研修の場を設けることが大事ではないかなと思っております。

(質問) 分かりました。ありがとうございます。

○議長職について

(質問) 5月の役選の話に戻りまして、副議長にお尋ねします。

(副議長) 私のことですか。

(質問) 同じく去年の所信表明会で、議長を目指されないんでしょうかというご質問があったときに、女性初の議長になれるよう精進しますというコメントがあったと思いますが、その考えは今も変わらないですか。

(副議長) はい、変わっておりません。

(質問) 単刀直入ですけど、5月立候補される予定であるかということですが、いかがですか。

(副議長) この5月に立候補する予定は、私自身としては、今はございませんが、副議長は1年が慣例になっておりますので、副議長については、その時期に辞表を出す予定でおりますけれども。議長を目指して精進するという気持ちは変わっておりません。

(質問) 議長が辞表を出さなければ、議長選は行われないということになるので、今ちょっと一足飛びで質問してしまったんですけど。副議長ご自身としてはもう1年でということで、副議長の役職としてはということでしょうか。

(副議長) はい。

(質問) 分かりました。

(議長) 副議長は、これは申し合わせがそうなってますので、1年で交代することが申し合わせになってます。それはもうそのとおりです。また将来、杉本副議長が議長に向けて、またそういう時期が、必ずや来ると私は思ってますけれども、それは私は期待はしますけど。今、いつとかそんなことは、ちょっと申し上げられませんけど。

(質問) 分かりました。

(質問) 他大丈夫ですか。

(議長) よろしいですか。ありがとうございます。4月になりましたんでまた皆さま方も、新年度よろしく願い申し上げたいと思います。また5月を楽しみに、必ずもう1回は記者会見は確実にありますので、よろしく願います。本日は誠にありがとうございました。

(以 上) 10時52分 終了